卒業生が語る市高 Talk about Ichiko

はばたいていった先輩たちに市高で学んだ経験を振り返ってもらいました。

平成26年度 卒業生（科学探究科２期生）

稲垣　伸 さん

国立研究開発法人理化学研究所 環境資源科学研究センター
バイオプラスチック研究チーム 特別研究員

研究人生の出発点

科学探究科では、普段触れることのない多様な学問に出会い、科学の面白さや奥深さを実感する貴重な機会を得ました。なかでも、プラスチックをつくる実験に感銘を受け、この分野をもっと深く学びたいと強く感じたことを覚えています。この経験が、私の研究人生の出発点となりました。

その後、プラスチックを学べる大学に進学し、大学院博士課程まで進みました。そして、現在は環境に配慮したプラスチックの開発に取り組んでいます。これまで一貫してプラスチックの研究を続けてこられたのは、科学探究科での学びを通して「自分の心を動かすもの」を見つけられたからです。探究を深めるには、まず自分の関心を知ることが欠かせません。私にとって、その気づきの場が科学探究科でした。

市高での３年間は、自分の中にあった興味や可能性に気づき、少しずつそれを形にしていく、とても有意義な時間でした。その経験が、今も私の歩みを支え続けています。

平成25年度 卒業生

漆畑　佐弥 さん

全日本空輸株式会社　客室乗務職

世界へ踏み出す一歩

市高での3年間は同じような志を持つ仲間、教科担任や顧問の枠を超えて親身になってくださる先生方との出逢い、勉学はもちろん、様々な学校行事に全力で取組む校風のおかげで、いつも“楽しく頑張れる環境”がありました。高校生活の中で人生の転機となった経験が海外語学研修への参加です。外国の景色や異文化に触れ、初めてのホームステイで会話が理解できずもどかしかった気持ちや、思いが伝わる喜びを体感できたあの瞬間を鮮明に覚えています。たったひと言の勇気を出す、誠意を持って相手に寄り添う気持ちが、こんなにも世界を広げてくれるのだと知ることのできた海外語学研修は私にとって貴重な財産であり「私も世界を繋ぐ人材になりたい」と志す原点になりました。この経験が大学進学後の留学への後押しとなり、人生2度目の海外生活では多様な国籍の方々と宝物のような時間を過ごす事ができました。現在は客室乗務員として世界の空を飛びまわっています。お客様だけでなく、一緒に働くクルーも国籍やバックグラウンドは大きく異なります。世界中の人やモノ、新しい出逢いに時に戸惑いながらも楽しく向き合えるのは市高での経験があったからです。好きや得意を伸ばして、仲間と補い合う事の大切さ、挑戦の楽しさは市高で培ってきたものと感じています。

平成24年度 卒業生

大長　俊貴 さん

エンジニア

令和の今、市高で過ごす３年間の価値

市高は“バランス”の取れた学校です。私はスポーツ、勉学、遊び、恋愛に妥協せず没頭し、いずれも満足できる3年間を過ごすことができました。限られた時間で複数のことに打ち込み、成果を出すのは簡単ではありません。そうした欲張りを当たり前として受け止め、先生方が親身にサポートしてくれる環境が、市高にはありました。進学実績だけを追い求める学校にはない市高の魅力です。

私は3年生のインターハイまで部活に励み、その後、悩んだ末に勉強での大学進学を選択しました。卒業後は名古屋大学・大学院で航空宇宙工学を学び、現在はエンジニアとして設計・技術開発に従事しています。

技術や価値観の変化が激しい時代だからこそ、自ら考え判断し行動する力が重要です。多様な選択肢のある市高でやりたいことをバランス良くやり切る経験が、その力を育てると信じています。

静岡市立高等学校

〒420-0803　静岡市葵区千代田三丁目1-1
TEL：054-245-0417　FAX：054-248-1190
URL：https://shizuokacity-h.ed.jp/　E-mail：ichiko@shizuokacity-h.ed.jp

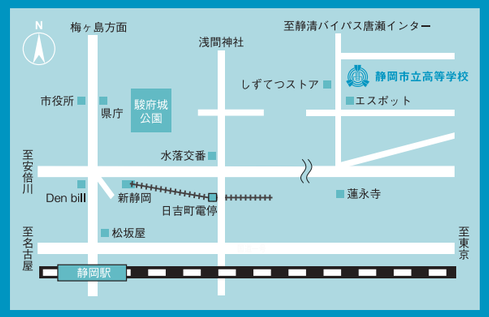
公式ホームページ

SHIZUICHI_OFFICIAL
Instagram

学校までのアクセス方法

自転車　東静岡駅から約15分
※９割以上の生徒が自転車通学です。

バ　ス　静岡・新静岡駅より約10分
唐瀬車庫行（三松経由）→ 市立高校前下車



SHIZUOKA ICHIKO SCHOOL GUIDE 2027

静岡市立高等学校
令和９年度　学校案内

静岡市立高等学校

個々の能力を最大限に伸ばし、仲間と共に成長できる学校

教育目標

「質実剛健」の気風を継承し、校訓「正しく、強く、明るく」を基に、
「文武両道」を目指し、地域社会や国際社会に貢献できる、
調和のとれた創造的な人間を育成する。

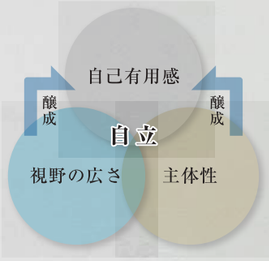
アドミッションポリシー　～このような生徒を待っています～

普　通　科　何事にも粘り強く取り組もうとする生徒

科学探究科　理科や数学に関心をもって自ら進んで学ぼうとする生徒

市高で育む 3つの資質・能力

生徒一人ひとりの自立に向かって、未来起点の思考と日常の凡事の徹底により、高校生活（学習、部活動、学校行事等）を通して、3つの資質・能力（自己有用感、視野の広さ、主体性）を育んでいます。



確かな学力

高校生活を彩る学校行事

特色あふれる探究活動

部活動の活躍

ISEP の研究開発への取り組み

「市高科学教育プログラム（Ichiko Science Education Program　通称 ISEP）の開発」～科学的リテラシーをもって解決困難な課題に立ち向かうことができる人材の育成～を目標に掲げて研究開発を進めています。第Ⅰ期（平成 25 ～ 29 年度）は科学探究科を対象に、第Ⅱ期（平成 30 ～令和4年度）からは対象を普通科にも広げ、学校全体で SSH*に取り組みました。更に、第Ⅲ期（令和6～ 10 年度）SSH*指定校になりました。

ISEPについての詳細は別紙「静岡市立高校SSH通信Serendipity」をご覧ください。

文部科学省指定事業
SSH
Super Science High-school

※スーパーサイエンスハイスクール（SSH）とは
高等学校等において、先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究や、国際性を育むための取組を推進します。また創造性、独創性を高める指導方法、教材の開発等の取組を実施します。

学業に専念できる環境・施設

New

320名が収容できる視聴覚室や生徒が自由に交流できる生徒ホールなど、快適な学校生活を過ごせる環境・施設が整っています。令和8年3月には体育館空調設備を完備しました。

03 普通科
05 科学探究科
07 市高の進路指導
09 部活動・年間行事

生徒左から／土田 透也（賤機中）、深澤 成美（長田西中）、山脇 帆南（末広中）、濱尾 和希（安東中）

普通科

地域・国際社会に貢献し、調和のとれた創造的な人間を育成

まだ知らない自分に出会う３年間

自ら問いを見つけ、学び方を考え、挑戦を続ける。その過程で生徒は大きく成長していきます。本校では担任、部活動顧問、ゼミ担当教員など多くの教員が伴走者となり、生徒一人ひとりの挑戦を支えます。3年間の学びを通して、生徒は自律した学習者へと成長し、地域社会や国際社会で活躍する力を育んでいきます。

1年生
- 一　般　5クラス
- 特　進　2クラス

2年生
- 文系（一般）　2～3クラス
- 文系（特進）　1クラス
- 理系（一般）　2～3クラス
- 理系（特進）　1クラス

3年生
- 文系（一般）　2～3クラス
- 文系（特進）　1クラス
- 理系（一般）　2～3クラス
- 理系（特進）　1クラス

1年生「知る・見つける」
幅広い学びと探究活動を通して、自分の興味や可能性に出会います。

2年生「深める」
文理選択を行い、興味ある分野を深く学びながら進路を具体化します。

3年生「挑戦する」
進路実現に向けて、自分で学びを調整しながら挑戦を続けます。

Point 01 進路に合わせて学ぶ文理コース

1年次は全員が共通の科目を履修し、幅広い学びの中で自分の興味や可能性を見つけていきます。2年次からは進路希望や得意分野に応じて文系・理系コースに分かれ、それぞれの目標に向かって学びを深めます。自分の進路と向き合いながら学びを選択する経験は、まだ知らない自分と出会う第一歩になります。

Point 02 志の高い仲間と学ぶ特進クラス

国公立大学進学を目標に、同じ志を持つ仲間と学ぶ特進クラスです。入学時は希望制で編成し、2年次からは進路希望に応じたクラス編成を行います。朝課外や通学学習会、放課後課外などの学習機会を通して教員が伴走し、生徒の挑戦を支えます。仲間と切磋琢磨しながら努力を重ねる中で、生徒は自分の可能性を広げていきます。

Point 03 「知りたい」を深める探究活動

興味・関心のある対象の、表層ではなく深層へ。自分の興味・関心に深く潜ることは、自分自身と向き合うことでもあります。テーマは生徒自身が見つけ、仲間と協働しながら探究を進めます。そこから生まれた発見や気づきを、言葉や表現として発信していきます。そうした経験を通して、生徒は本当の自分を発見していきます。

教育課程

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年生		現代の国語		言語文化			歴史総合		地理総合		数学ⅠⅡA						物理基礎		化学基礎		芸術Ⅰ		英語コミュニケーションⅠ			論理・表現Ⅰ		体育		保健	情報Ⅰ			SS探究Ⅰ	
2年生	文系	論理国語		古典探究			文学国語		日本史探究		公共			数学ⅡBC					生物基礎				英語コミュニケーションⅡ			論理・表現Ⅱ		体育		保健	家庭基礎			SS探究Ⅱ	
									世界史探究																									
	理系	論理国語		古典探究			地理探究		公共	数学ⅡBⅢC						化学		生物基礎		物理			英語コミュニケーションⅡ			論理・表現Ⅱ		体育		保健	家庭基礎			SS探究Ⅱ	
																				生物														
3年生	文系	論理国語		古典研究			文学国語		日本史探究		政治経済			数学ⅠAⅡBC演習					生基演習		化基演習		英語コミュニケーションⅢ					論理・表現ⅠⅡ演習			体育			SS探究Ⅲ	
									世界史探究					公共演習		英語コミュニケーションⅠⅡ演習		生活スポーツ	現代の国語演習		家庭基礎演習 芸術Ⅱ												
	理系	論理国語		古典探究			地理探究			数学ⅢC	数学ⅠAⅡBⅢC演習						化学				物理		英語コミュニケーションⅢ				論理・表現ⅠⅡ演習			体育			SS探究Ⅲ	
																					生物													

Student's voice

3年 掛川　紗希 さん
（静岡市立末広中学校）

～成長～　日本一

私は9月に行われた U20 日本陸上競技選手権大会で走高跳に出場し優勝することができました。学校生活が充実していることが一つの要因だと感じます。部活動では、技術だけでなく、最後までやり抜く力を身に付けました。また、悩みがあれば相談に乗ってくれる仲間がいて、大会が近くなってくれば優しく声をかけてくれたり、一人ひとりを応援してくださる先生方が常に私を支えてくれています。安心して目標に向き合える環境があり、部活動も勉強も自分の成長を実感しています。

3年 白鳥　柊真 さん
（静岡市立美和中学校）

～文武両道～　より高く

私がこの学校に入学したのは文武両道を実現できると思ったからです。平日は部活動後に最低2時間の学習時間を確保し、課題だけでなく自分に必要な学習にも主体的に取り組んでいます。また、剣道部に所属し遠征や大会の多い忙しい日々を送っていますが、遠征中のバスなどで英単語の暗記や映像授業の視聴に取り組み、スキマ時間を有効的に活用しています。限られた時間を計画的に使いながら学習を積み重ね、将来は医療に携わるという目標に向かって努力を続けています。

3年 前浦　雄介 さん
（静岡市立大里中学校）

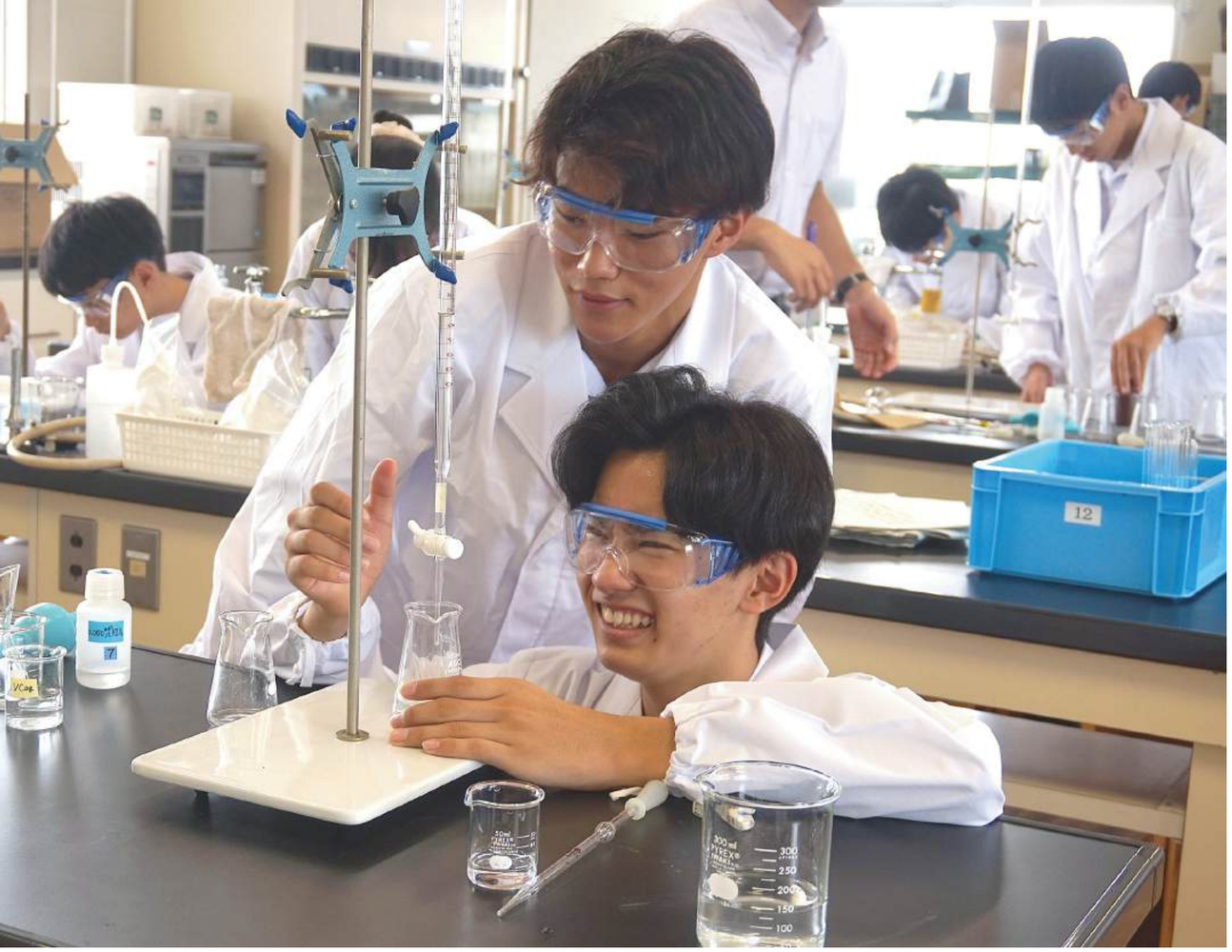
～探究し続ける楽しさ～

私は探究活動を通して、仮説が正しいかどうかを検証する実験を何回も行いました。実験を行うたびに新たな疑問が生まれ、探究し続ける楽しさを知りました。探究の過程では、予想していなかった発見にたくさん出会い、驚きの連続でした。また、私は運動部に所属していますが、部活動と勉強を疎かにせず、時間の使い方をよく考えて探究活動を行うことで充実した日々を送ることができています。私の将来に役立つ良い経験となっています。

3年 山本　愛果 さん
（静岡市立亀爪中学校）

～異文化交流～　大きな刺激

私は夏休みの5日間、韓国で行われた韓国・中国の学生との文化交流に参加しました。言語は違っても翻訳や身振り手振りで自分の気持ちを伝え、お互いに親睦を深めました。今まで知識としてしかなかった海外の文化を実際に体験することで、海外への興味がより一層高まり、共通点や相違点を感じることでより深く理解し合えることができました。今でも連絡を取り合い、交流しています。常に文化の違いを知り続けることが、今の私の人生の大きな刺激になっています。



科学探究科

科学的・数学的に
探究・表現する能力と態度を育成

育てたい３つの力

主体的に生きる力
自ら考え、判断し、
行動する力

科学を探究する力
自ら課題を設定し、
科学的手法を用いて解決する力

コミュニケーション能力
論理的に思考・判断・表現する力、
英語力

Point 01　英語、数学、理科では少人数授業を実施

1クラスを2集団に分け、生徒一人ひとりにあった手厚い授業を展開します。生徒と生徒、生徒と教員、意見の交わし合いを重んじながら、探究活動の基本となる教科理解を深めています。

Point 02　知識や技能を活用する場面を多く設定

現在の学習指導要領は「知識や技能の習得」だけでなく、その「活用」を重視しています。科学探究科の各プログラムは、授業で習得した知識や技能を活用する絶好の機会です。物事を掘り下げ、多角的に考察する姿勢が自然と身に付いていきます。

Point 03　「課題研究」と「海外科学研修」を軸にプログラムを展開

すべての取組の中心に「課題研究」と「海外科学研修」を据えて各プログラムを実施します。各プログラムは相互に関連付けられており、実験や研修を振り返り、その意義について考える良い機会になります。

科探科だから経験できる特徴的な授業

「探究プログラムⅠ・Ⅱ・Ⅲ」（1～3年）（Ⅲは希望者を対象に実施）
探究活動を通じて科学的に探究する能力を養い、論理的思考力と課題解決能力を育成します。Ⅱでは自ら課題を設定して「課題研究」に取り組みます。

「CareerDesign（CD）プログラムⅠ・Ⅱ」（1・2年）
大学での実習やフィールドワーク、講演会等を通じて科学的な視野を広げ、自己の在り方生き方について考えます。

「ScienceEnglishCommunication（SEC）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」（1～3年）
科学英語を学び、科学英語プレゼンテーションを実践します。外国人 TA を招いて英語でコミュニケーションする機会もあります。

「海外科学研修」（2年）
海外の大学や研究施設などで研修し、現地の高校生とも交流します。先端研究や学術文化に触れる機会を通して自らの進路について視野を広げます。

教育課程

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年生	現代の国語		言語文化		歴史総合		公共		理数数学Ⅰ Ⅱ						理数化学		理数物理		芸術Ⅰ		SECⅠ	英語コミュニケーションⅠ			論理・表現Ⅰ		体育		保健	情報Ⅰ		CDⅠ		探究プログラムⅠ
2年生	論理国語		古典探究		地理総合		理数数学Ⅱ 理数数学特論						理数化学		理数物理		理数生物				SECⅡ	英語コミュニケーションⅡ			論理・表現Ⅱ		体育		保健	家庭基礎		CDⅡ		探究プログラムⅡ
3年生	論理国語		古典探究			地理探究			理数数学Ⅱ 理数数学Ⅰ Ⅱ特論演習						理数化学演習				理数物理演習 / 理数生物演習		SECⅢ	英語コミュニケーションⅢ					論理・表現Ⅰ Ⅱ演習			体育				探究プログラムⅢ

※探究プログラムⅢは選択者が履修します

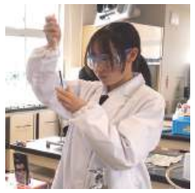
Student's voice

3年 佐々木敬斗さん
（藤枝市立青島北中学校）

高校では理科についてもっと深く学びたいと思っている中、静岡市立高校が SSH に指定されていて、「探究プログラム」などの授業内で研究できる環境が整っていることを知り、科学探究科に入ることを決めました。「探究プログラム」では研究を通して多面的に物事を捉えることがとても重要だということが分かりました。予想できない結果と出会うことで視野が広がりました。このような経験は探究プログラムがあったからこそだと感じています。

3年 山口　桜さん
（静岡市立西奈中学校）

ただ授業で知識を学ぶだけでなく、自ら課題を見つけて研究をしてみたいと考え、科学探究科を選びました。「SEC」では TA さんと実際に英語で対話する中で他国の文化に触れ、英語で伝えることの楽しさを知りました。海外科学研修では「SEC」で学んできたことを実際に海外で発揮することができ、科学は世界共通の言語であることを改めて実感し、世界とのつながりを強く感じました。また、海外で行われている高度な研究や現地の人々の温かさに触れることができました。



3年 山脇　帆南さん
（静岡市立末広中学校）

将来、薬の開発に携わりたいと考えており、科学探究科を選択しました。「CD プログラム」では、薬学分野の研究者の方や最先端医療に関わる研究者の方など、様々な方たちと交流ができ、考え方や人柄に触れることで研究者に対するイメージが変わりました。出会ったどの方も自分の研究に誇りを持ち、楽しみながらやっているのを感じ、とてもかっこいいと思いました。進路の選択肢の幅を広げ、多様な視点で考えることができるようになりました。

2年 佐塚　陽向さん
（焼津市立豊田中学校）

私は科学的な探究活動に興味があり、科学探究科に入学しました。「探究プログラム」の実験を通してデータ分析を学び、英語での発表も経験しました。「CD プログラム」では大学の先生の講義や富士山フィールドワークを通して視野を広げることができました。高校生ではなかなかできない貴重な体験ができるのが、科学探究科の大きな魅力だと思います。

市高の進路指導
Bright Future

高校生活は自分の夢や目標を探し、その実現に必要な人間力を身に付けるための時間であり、市高にはそのための環境が整っています。

正

［正しく］

適切に進路選択をするために、生きた上級学校の情報を校内で得る手段を充実させています。生徒だけでなく保護者に向けても進路情報を間断なく発信しています。

強

［強く］

進路を切り拓くために、健やかな身体、努力をし続ける強い精神が必要です。そのために、生徒自身が学習に向き合うためのコンテンツを充実させています。

明

［明るく］

卒業して次のステージに向かうとき、明るく軽やかに活き活きとした姿となるために、学習・部活動・行事を全力全開で取り組むことができる環境を整えています。

自律した学習者に向けて

本校では、卒業後のステージでさらなる飛躍をするために、生徒一人ひとりが「自ら問いを立て、解決策を導き出す」自律した学習者の育成に注力しています。そのために「基礎学力と学習習慣」を測る模試と「大学受験に必要なより高度な学力」を測る模試の2種類を実施しています。学習・模試の振り返りを教員との充実した面談をした上で、さらにAI教材を活用しながら深め、自身で目標を立てるサイクルを繰り返して自律した学習者を目指します。

進路行事

学部学科説明会

10月に全部で 20 の学問分野の先生方を一斉に招いて行います。生徒は事前に希望した2つの講座に参加します。

大学出張講義

全国の国公立大学を中心に、様々な分野の先生方が、高校生向けにアレンジした模擬授業を行います。年間8～ 10 回実施しています。

進路講演会

生徒の進路意識をの向上や、学習に向かう姿勢の醸成、保護者の進路情報を充実をするために、最新の入試動向の紹介や、進路実現に向けてのポイントを聴くことができます。

日々の学習

朝課外

特進クラスは全員、一般クラスと科学探究科は希望者に対して実施しています。

放課後課外

3年生対象に行っています。生徒の進路目標やニーズに対応し、基礎からハイレベルまで、多様な課外を実施しています。

通学学習会

特進クラスは全員、一般クラスと科学探究科は希望者が、1・2年生の夏休みに一日 10 時間の学習に挑みます。

面談

生徒との面談（夏の三者面談含む）を年間を通して複数回実施し、生徒・保護者・学校間で情報を共有し、より良い進路選択を目指します。

自習室

校内に用意した複数の自習室を使い、夜7時まで自習を行うことができます。3年生を中心に多くの生徒が利用し、個々のペースで学習に励んでいます。質問に積極的に向かう姿も見られます。

個別指導（2次試験・面接・小論文）

国公立大学の2次試験対策では教科指導だけでなく、近年増加している面接・小論文指導を教員が生徒一人ずつ付いて指導します。年間 100 名以上の生徒が利用しています。

Bright Future
輝かしい未来へ

進路実績

過去最多の合格者数

国公立大学 合格者数 **194名**

県内トップクラスの実績

静岡県内国公立大学 合格者数 **74名**

※令和７年度 実績

国公立大学合格者数 194 名［令和7年度］

京都大	1名	東京農工大	2名	東京都立大	4名
名古屋大	4名	東京海洋大	1名	横浜市立大	4名
九州大	1名	横浜国立大	2名	名古屋市立大	3名
神戸大	1名	金沢大	2名	大阪公立大	1名
筑波大	6名	名古屋工大	2名	神戸市外大	2名
東京学芸大	2名	京都工芸繊維大	2名	その他の国公立大学	154名

静岡県内国公立大学合格者数［直近3年間］

令和7年度		令和6年度		令和5年度	
静岡大	35名	静岡大	38名	静岡大	28名
静岡県立大	35名	静岡県立大	28名	静岡県立大	26名
静岡文化芸大	4名	静岡文化芸大	5名	静岡文化芸大	8名
		静岡農林職大	1名		
令和7年度	計74名	令和6年度	計72名	令和5年度	計62名

私立大学合格者数［令和7年度］

慶応大	1名	芝浦工大	8名	駒澤大	9名
東京理大	6名	関西大	5名	専修大	35名
明治大	14名	関西学院大	5名	名城大	24名
立教大	4名	同志社大	11名	南山大	13名
中央大	6名	立命館大	21名	豊田工大	1名
法政大	20名	日本大	25名		
学習院大	2名	東洋大	23名		

Message［卒業生からのメッセージ］

静岡大学教育学部
黒津　佑衣さん
（令和６年度卒）

私は市高での 3 年間、特進クラスと応援團に所属していました。特進クラスでは朝早くから課外授業がありましたが、先生方からのサポートや友人たちの協力のおかげで、最後まで継続することができました。

また応援團では、夏の野球応援に向けて多忙な日々を送っていましたが、諦めずに続けたことで自信に繋がりました。

現在は子どもに寄り添える教員を目指して、静岡大学で教育心理学を学んでいます。今の自分が前向きに学べているのは、市高で様々な困難を乗り越え、自分に自信を付けることができたからです。皆さんもぜひ前向きに挑戦する気持ちを持って、充実した高校生活を過ごしてください。

東北大学■学部
石塚　健大さん
（令和５年度卒）

科学探究科での 3 年間は、好奇心を大切にしながら主体的に学び続ける力を育んだ時間でした。その中で研究を形にする難しさと、考え抜く面白さの両方を実感しました。

また、卓球部部長として粘り強く取り組んだ経験も、今の私の確かな土台となっています。

現在は東北大学に進学し、高校時代から興味を持っていたプラズマについて学んでいます。専門分野を深めると同時に、その知識を社会の課題にどう活かすかを意識しながら学んでいます。

皆さんも市高で、自分の興味を大切に一歩踏み出してみてください。その積み重ねが、将来の可能性を大きく広げてくれるはずです。

部活動

市高生は「文武両道」。生徒全員が部活動に所属しています。
活動を通して特技を磨き、責任感と忍耐力を身に付け、仲間たちとの深い友情を育みます。

運動部

- 陸上競技部
- 野球部
- 水泳部
- 卓球部
- 体操部
- 剣道部
- 弓道部
- サッカー部
- テニス部（男・女）
- ソフトテニス部（男・女）
- バレーボール部（男・女）
- バスケットボール部（男・女）
- バドミントン部

文化部

- 吹奏楽部
- 放送部
- 応援部
- 写真部
- マンドリン部
- 美術部
- 演劇部
- 茶道部
- 料理研究部
- デジタル研究部
- 科学部
- 書道部
- 囲碁将棋同好会

部活動実績

令和７年度

	全国大会	東海大会
陸上部	全国高校総体 男子　100m：出場 200m：タイムレース決勝進出 女子　走高跳：出場　4×400mR：タイムレース決勝進出 U20日本選手権　男子　200m：B決勝進出　女子　走高跳：１位 国民スポーツ大会　少年女子A 300m：出場 全國中等學校田徑錦標賽（台湾の全国大会）　女子400m：７位	東海新人大会 男子　4×400mR：４位 女子　200m：決勝進出　400m：５位　100mH：B決勝進出 走高跳：１位　4×100mR：６位　4×400mR：２位
水泳部	全国高校総体 女子100mバタフライ　女子200mバタフライ	東海高校総体 ・男子200m自由形　・男子200m平泳ぎ ・女子400m自由形　・女子800m自由形　決勝８位 ・女子100mバタフライ　決勝6位　・女子200mバタフライ　優勝
男子テニス部	全国高校総体　シングルス　出場	東海高校総体　シングルス　出場
女子テニス部	全国高校総体　シングルス　出場 ダブルス　出場 国民スポーツ大会　少年女子　出場	東海高校総体　団体　３位 ダブルス　３位
女子ソフトテニス部		東海高校総体　個人戦出場
体操競技部		東海高校総体　女子団体出場
卓球部		東海卓球選手権大会　出場
剣道部		東海高校選抜剣道大会　男女団体出場
吹奏楽部	日本管楽合奏コンテスト全国大会　A部門（35人以下）　優秀賞	中高生管打楽器ソロコンテスト東海大会　金賞
マンドリン部	日本管楽合奏コンテスト全国大会　A部門（35人以下）　優秀賞	東海選抜高等学校ギター・マンドリンフェスティバル　優良賞

過去３年間

県大会出場

- ソフトテニス（男・女）
- 体操（男・女）
- 剣道（男・女）
- バレーボール（男・女）
- バスケットボール（男・女）
- サッカー
- 卓球（男・女）
- 弓道（男・女）
- 陸上競技（男・女）
- 水泳（男・女）
- テニス（男・女）
- バドミントン（男・女）
- 吹奏楽
- 放送

年間行事

4 Apr.

・入学式
・対面式

田代紗弓（大里中）

5 May

野中颯人（静岡南中）

・遠足

6 Jun.

・市高祭（文化祭）

大久保怜海（清水町清水中）

7 Jul.

・野球応援

8 Aug.

・海外語学研修
・通学学習会

小西祐大（豊田中）

9 Sep.

・生徒会長選挙

10 Oct.

・体育大会

大谷紀乃（長田西中）

11 Nov.

・開校記念
芸術鑑賞会

植村静太（城内中）

12 Dec.

・修学旅行
・海外科学研修

木村愛理（静岡東中）

1 Jan.

・マラソン大会
・百人一首大会

2 Feb.

・SSH 研究成果
発表会

3 Mar.

・スポーツ大会
・卒業式

原川恵泰（東豊田中）